

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横須賀市療育相談センター		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日	～	2025年11月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	96	(回答者数) 71
○従業者評価実施期間	2025年10月20日	～	2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解をしています。	日々の連絡帳のやりとりや、必要に応じて電話による連絡や報告を行う等、職員と保護者がこどもの状況や課題について共有しています。	引き続き、こどもの健康や発達の状況について共通理解し、個別支援計画に沿った支援に繋げていきます。
2	併行通園先への巡回訪問、就学先との引き継ぎ等、関係機関と情報共有をし、連携をとっています。	巡回訪問の際は、情報共有や具体的な助言をしたり、併行通園先の先生方を対象にセンターの取り組みや療育の工夫を知っていただく公開療育を実施しています。就学先との引き継ぎの際は、支援シートを作成し、連携をとっています。	公開療育の内容を検討したり、直接的に支援を実施する保育所等訪問支援を実施するなど、アウトリーチの強化に繋げていきます。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練やその他必要な訓練やシミュレーションを行っています。	毎月発行のクラスだよりで避難訓練の内容(時間や避難場所、想定災害)を伝えています。また、職員はこどもが医療対応が必要になった場合やけがをした場合を想定して行う緊急時対応訓練を行っています。	避難訓練の様子を保育アプリで発信したり、各種マニュアルを園内で閲覧できるように、ラウンジに常置します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの人数に対して、部屋が狭く感じますという昨年度に引き続きのご意見に関しては、クラス編成の工夫や保育室の使い方、活動プログラム内容を改めて検討することが課題と考えています。	保育室は拡張できない為、親子通園クラスや参観などの行事は、保育室にいる人数が多くなります。全体在籍人数や通園形態を考えると、1クラスにこどもが9名程度の編成をしなければなりません。	活動や遊びに合わせて保育室の空間を柔軟に設定、また他保育室を使用しながら、こどもが安全に過ごせる環境を確保していきます、合わせて、通園形態の検討をしています。
2	生活環境の改善が課題と考えています。	建物や設備に修繕が必要となった場合は、関係機関に報告し、その都度対応していますが、室温が低く、湿気がこもりがちな環境は、建物の構造上、改善が難しい状況です。	建物全体に関しては、関係機関と協議し、対策を検討していきます。保育室は、清潔を保てるよう、掃除や消毒を徹底し、合わせて、職員一人ひとりが整理整頓の意識を高められるように、周知していきます。
3	きょうだい児の交流機会が増えるような支援が課題と考えています。	親子通園や開催行事の際は、弟妹預かりがありますが、兄弟への支援が不足しています。	冬に実施したクリスマス会のような、きょうだい児支援につながるイベントを今後も考え、取り組んでいきます。